

港湾取扱貨物量の見通しの試算結果について

国際海上コンテナ輸送量
内貿複合一貫輸送量

国土交通省港湾局

社会経済フレーム等の設定

実質経済成長率

年度	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 ~2010年	2011年 ~2015年	2016年 ~2020年
GDP成長率 (ハイケース)	-1.2%	1.1%	2.0%	1.8%	1.5%	1.6%	1.9%	1.5%	1.3%
GDP成長率 (ローケース)	-1.2%	1.1%	2.0%	1.8%	0.5%	0.5%	0.5%	0.8%	0.6%
適用	実績値		「平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」(平成16年1月19日閣議決定)に準ずる		「構造改革と経済財政の中期展望」(平成14年1月25日閣議決定)に準ずる			国土交通省推計	

人口

2ケース共通

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成14年1月)の中位推計値

2001年 127,183千人

2015年 126,266千人

2020年 124,107千人

為替レート

ハイケース：90円/US \$

ローケース：130円/US \$

中枢国際港湾の港湾のサービス水準(料金、時間等のサービス)が向上の有無

ハイケース サービス水準が向上

(モデル上では、港湾のコストの3割低減として表現)

ローケース サービス水準は現状程度

国際海上コンテナ貨物需要予測のフロー

貿易モデル (我が国全体の貨物量を予測)

社会経済フレーム

GDP成長率：「構造改革と経済財政の中期展望」（平成14年1月閣議決定）
「平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」
（平成16年1月19日閣議決定）等
人口：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

対象地域（16地域・国）

日本、アメリカ合衆国、カナダ、韓国、台湾、中国、タイ、シンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、オーストラリア、英国、仏国、独国、その他地域

非競争型モデル

・農水産品やエネルギー需要等に関する品目を対象
関連経済指標との相関
過去数年の平均値等トレンド推計

競争型モデル

・各国間の価格競争により貿易額が決定される品目を対象
・対象国の将来の経済状況等から品目毎の最終需要を求め、品目毎の各国間の価格競争力から貿易量を推計

トランシップモデル

日本を発着地としない東アジアと北米間のコンテナ貨物流動について、各国国際港湾の利用料金、就航航路等から我が国の将来トランシップ貨物量を推計

対象国・地域間貿易状況推計

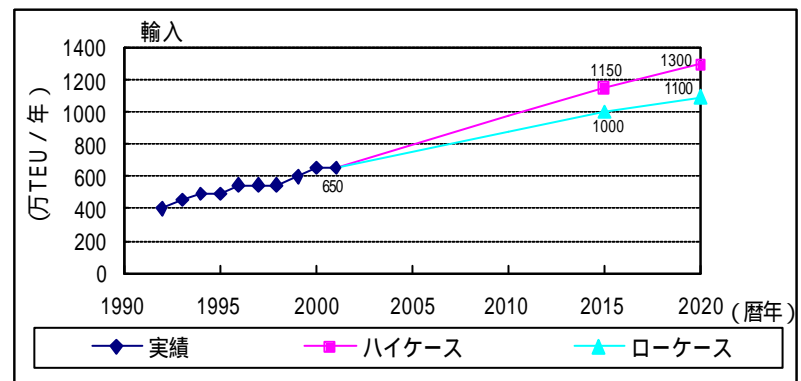
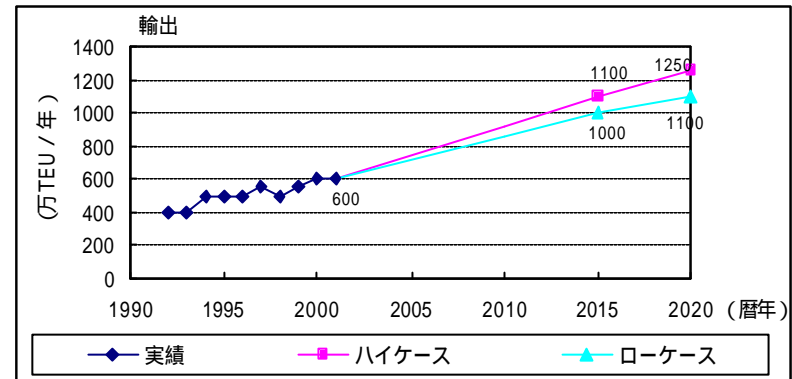
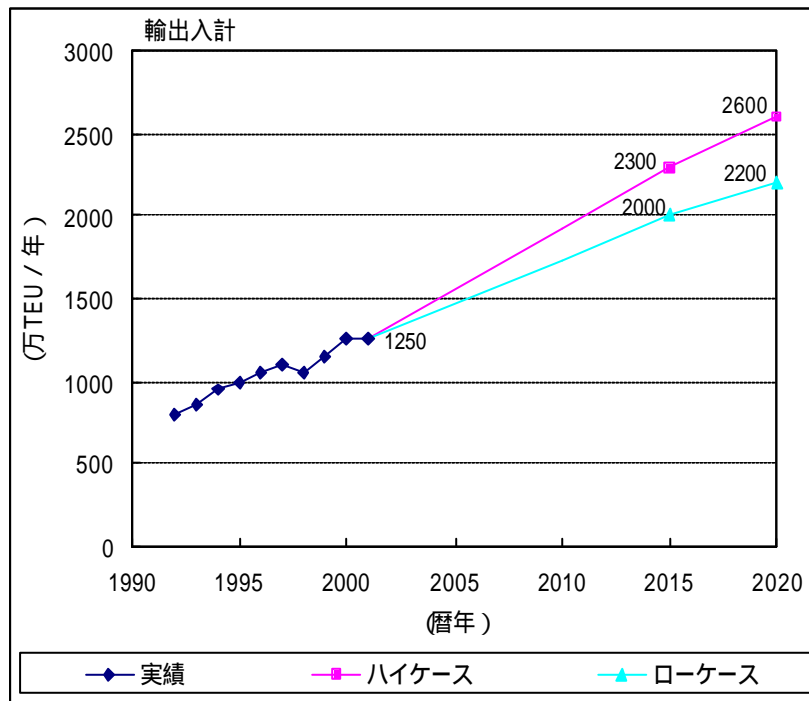
1. 重量金額換算率
2. 価格・数量(トン)換算率
3. コンテナ化率・トン/TEU
4. 空コンテナ比率

輸出入コンテナ個数推計

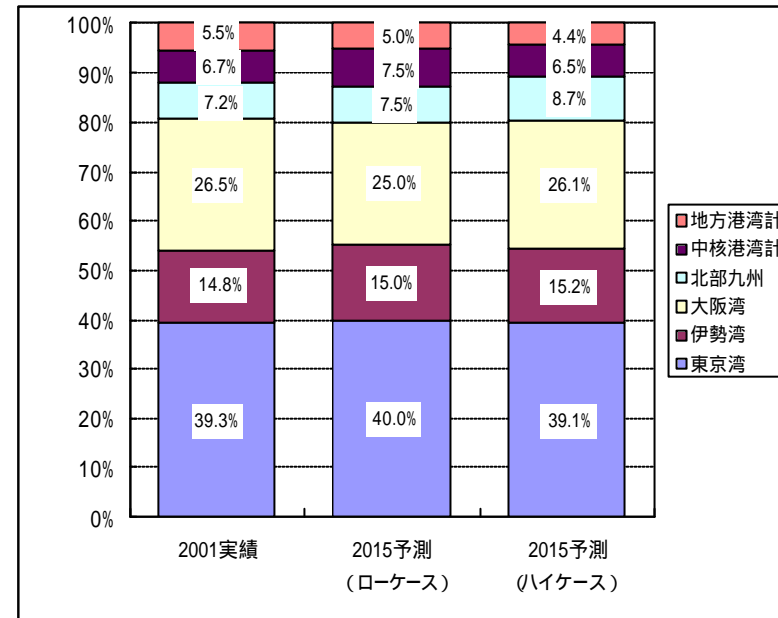
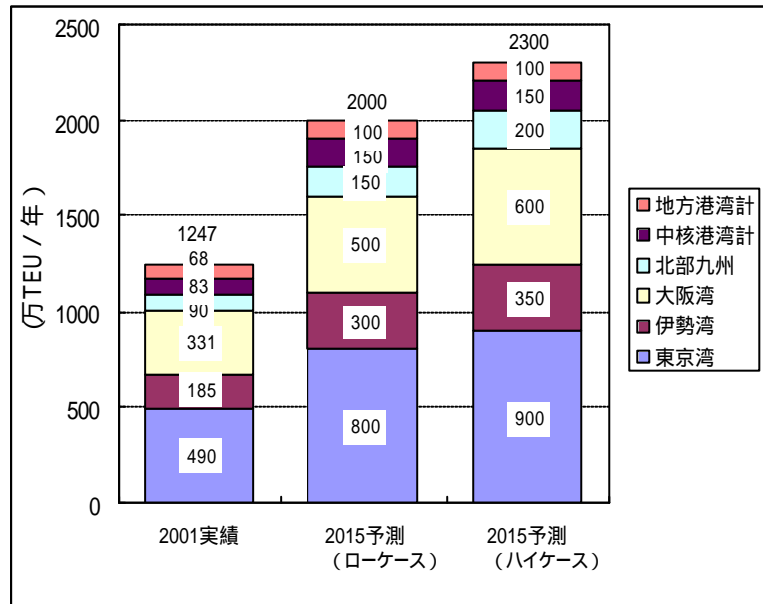
港湾選択モデル (我が国の港湾別の貨物量を予測)

背後圏のコンテナ発生集中状況、コンテナ積み取り個数による航路の成立性を勘案しつつ貨物の生産消費地間の輸送コスト(陸上コスト、港湾コスト、海上コスト、時間コスト)を国全体として最小化する港湾・ルートを選択し、港湾別のコンテナ取扱い量を推計

国際海上コンテナ貨物推計結果 (全国値)



国際海上コンテナ貨物推計結果 (中枢・中核国際港湾、その他の港湾)



内貿複合一貫輸送の需要予測のフロー

社会経済フレーム

GDP成長率：「構造改革と経済財政の中期展望」（平成14年1月閣議決定）
「平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」
（平成16年1月19日閣議決定）等
人口：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」 等

貿易モデルで求めた輸
入額を反映

四段階推定法

国内純流動量を予測

社会経済フレームから求めた国内生産額、輸入額を基に国内純流動量を予測する。

地域別貨物発生・集中量を予測
地域別社会経済フレームを説明変数として重回帰分析を行い、品目別・発生・集中量を予測する。

地域間貨物流動量の予測
2000年の物流センサスの結果を概ね再現できるモデルで地域間の品目別貨物純流動を予測する。

代表輸送機関別純流動量予測
2000年の物流センサスの結果を概ね再現できるモデルで、品目別代表輸送機関別純流動OD表を予測する。

物流センサスの調査対象として取り扱うことが難しい品目は別途推計
(廃棄物、原油二次輸送、取り合わせ品)

輸送機関別 (自動車、鉄道、内航海運) 総流動量の予測

内貿複合一貫輸送 (フェリー、コンテナ、RORO) の総流動量の予測

内貿複合一貫輸送貨物推計結果

